

日本主婦連合会 卯年の初詣

宇治神社へ 伏水蔵も見学



宇治神社に初詣

令和5年1月18日(水) 日本主婦連合会、毎年恒例の干支神社初詣に参加



伏水蔵を見学

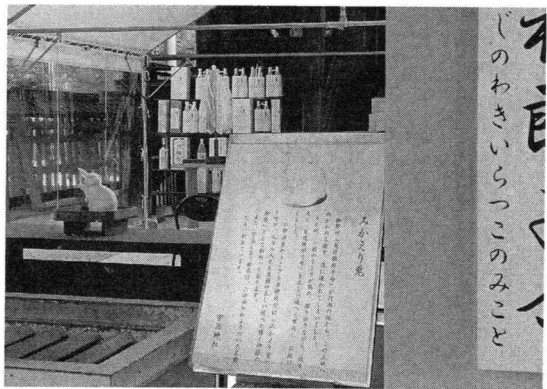
宇治神社は、菟道稚郎子命(うじのわきいらつこのみこと)が祭られて

しました。今年は卯年でウサギに縁する神社とのことで、今回は京都の宇治神社へ、そして見学として黄桜酒造の「伏水蔵」に行きました。バスの中では、始めに橋本副会長から「初詣にご参加頂き、ありがとうございます。今年も家族と共に一年を健康で過ごしてまいります」との挨拶があり、次に添乗員の間瀬さんより「本年も宜しくお願い致します。恒例の初詣ですが、ウサギの干支神社である宇治神社へと参ります。散策の後、黄桜酒造の伏水蔵にて、昼食をとり、見学を致します。」と説明を受けました。

おり、学業成就・安産成就の信仰としても知られております。ご本殿は、国指定重要文化財で鎌倉時代初期の建立です。又、御祭神を河内の国からこの地に向かうとき、兎があらわれて、何度も振り返り道案内をしたとの逸話があり、正しい道へと導く神の使いとして「みかえり兎」が鎮座している。かわいい兎の絵馬やおみくじが近年の人

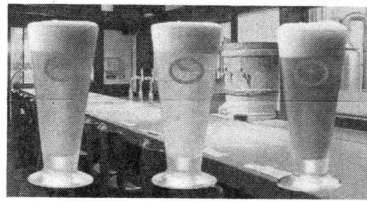
この後、黄桜酒造の京都で最初の地ビールも

今年こそ、コロナを乗り越えて、よい年になりますように。皆様、お疲れさまでした。



ウサギに縁する神社

「伏水蔵」にて昼食の会席膳を頂きました。美味しい大満足の食事を終えて見学へと移りました。伏見の地名の由来となっている「伏水」は、この地から湧く名水のことです。適度にミネラルを含んだ中硬水で、低温でも充分にお酒を発酵させる力を持つ水です。伏水は、昔から伏見のお酒にきめ細かく口当たりが良い風味をもたらしています。この蔵には、各階ごとに特徴を持たせた展示がされており、五階の吟醸蔵、清酒の神髄(酒



最後に会長から「うさぎ年、ビヨンビヨン跳ねるだけでなく、飛躍や発展の象徴。困難に負けず前進しましょう。今年も消費者団体として頑張りたいと思います。」と締めくくりの挨拶がありました。